

平成21年度 大学院人文科学府博士課程 第2期編入学試験問題
(言語学)

問1の解答は1枚目の解答用紙、問2は2枚目の解答用紙、問3は3枚目の解答用紙、問4は4枚目の解答用紙に書くこと。その際、問2-1などと記し、どの問に対する解答かを明示すること。

問1.

次のデータは、ある言語の動詞の活用形の音声表記である。アクセントの位置に関して、どのような規則性があるか述べなさい。できるだけ簡潔に述べること。

現在1人称単数	不定詞	完了1人称単数	受動相完了分詞	
mémoro:	memorá:re	memorá:vi:	memorá:tus	<思い出させる>
eksspékto:	eksspektá:re	eksspektá:vi:	eksspektá:tus	<待ち望む>
ámbulo:	ambulá:re	ambulá:vi:	ambulá:tus	<歩く>
intéllego:	intellégere	intellé:ksi:	intellé:ktus	<理解する>
fálla:	fállere	fefélli:	fálsus	<騙す>
skrí:bo:	skrí:bere	skrí:psi:	skrí:ptus	<書く>

問2.

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

著作権保護のため、Web 公開版では問題文を削除した。
引用箇所は以下のとおりである。

Chomsky, Noam (2000) Linguistics and brain science. In: Alec Marantz, Yasushi Miyashita and Wayne O'Neil (eds.) *Image, Language, Brain*,13-28. Cambridge, MA: MIT Press.

問2-1.

下線部(a)の"biolinguistic" approach とはどのようなものか、下線部(c)と対比させながら説明しなさい。

問2-2.

下線部(b)である理由を、本文に即して述べなさい。

問2-3.

下線部(d)である理由を、本文に即して述べなさい。

問3.

次の日本語の文はどのような構造をしていると考えますか。「正解」となる樹形図が1つに決まっているわけではないので、自分の分析にしたがって樹形図を書きなさい。また、その分析で仮定されていることの中で、異論がありそうな点について、自分が採用した分析の理由・根拠を述べなさい。

その家は、僕が思っていたよりも、ずっと大きかった。

問4.

以下の用語の中から5つを選び、簡潔に説明しなさい。

1. natural class
2. palatalization
3. suprasegmental phoneme
4. affix
5. accusative language
6. ellipsis
7. subjacency
8. maxims of conversation
9. Lyman's law
10. Broca's aphasia